2007年12月9日　山下淳助教が高柳研究奨励賞を受賞しました

中日新聞　2007年(平成19年)12月11日(火曜日)

電子科学の功績たたえる「高柳記念賞」

川田教授(静大)に贈呈

3氏に奨励賞

高柳記念賞の川田さん（左から2人目）ら受賞者＝浜松市中区で

電子科学研究の功績を顕彰する「高柳記念賞」の贈呈式が浜松市中区で九日開かれ、静岡大工学部教授の川田善正さん(四四)に記念品などが贈られた。「テレビの父」と呼ばれる故高柳健次郎さんを記念し、財団法人浜松電子工学奨励会が一九八五(昭和六十)年から電子科学研究者に贈呈し二十一回目。若い研究者を対象とした高柳研究奨励賞は三人が受賞した。

記念賞の対象となったテーマは「三次元顕微鏡光学の構築とその高密度光記録への応用」で、DVD、BD(ブルーレイディスク)に使われている光メモリーの二層化を発展。二十層の読み取りも可能とし記憶容量の飛躍的な向上を目指した。

贈呈式では、萩野実理事長から賞金などが手渡され、川田さんは「大きな成果が上げられるよう研さんしていきたい」と述べた。（西山和宏）

高柳研究奨励賞の受賞者は次の皆さん。

伊藤真也（静岡大電子工学研究所助教）▽大前悦子（浜松ホトニクス中央研究所研究員）▽山下淳（静岡大工学部助教）

中日新聞 2007年12月11日 朝刊 より

平成19年(2007年)12月11日（火曜日）　静岡新聞

受賞を喜ぶ（左から）山下助教、川田教授、伊藤助教、大前研究員＝浜松市内のホテル

高柳賞に川田氏ら

電子工学研究の業績評価

浜松で贈呈式

〝テレビの父〟として知られる故高柳健次郎氏をたたえ、電子工学分野で顕著な業績を挙げた研究者に贈られる「高柳賞」(浜松電子工学奨励会主催)の贈呈式が九日夜、浜松市内のホテルで開かれた。

賞金百万円の高柳記念賞には、三次元顕微光学の構築とその高密度光記録への応用を研究した静岡大工学部の川田善正教授(四四)が選ばれた。賞金四十万円の高柳研究奨励賞は、静岡大電子工学研究所の伊藤真也助教(三七)、浜松ホトニクス中央研究所の大前悦子研究員(三五)、静岡大工学部の山下淳助教(三四)が受賞した。

受賞者を代表して川田さんは「この賞に恥じることのないよう、今後も努力して研究成果を出していきたい」と述べた。

静岡新聞 2007年12月11日 朝刊 より